



# いとひば



## 第2学期が 始まりました

44日間の夏休みが終わり、2学期の始業式を迎えるました。全員そろってスタートできたことは何より嬉しいことです。

実り多い2学期になるよう教職員一丸となって努力してまいりますのでご支援ご協力をお願いいたします。

## 夏休みの様子から

### 1 「ふるさと吹上を知る！」 ～ 教職員のふるさと学習 ～

職員研修の一環として、地域めぐりを行いました。地区内の史跡や自然等の見学をとおして吹上地区の素晴らしい景色を再確認することができました。

吹上地区まちづくり協議会の大竹さんに講師をお願いし、それぞれの見学場所でとても詳しく説明していただきました。

善応寺（現在は観音堂のみ）からの眺めは平安時代とはかなり変わったことでしょうけれど、穏やかに広がる吹上の地にさしも草が茂り、遠くに白地沼が見える景色を想像することができました。



（住吉神社は吹上城の守り神でした）

### 2 「部活動をがんばりました」

7月22日に開催された栃木地区水泳交歓会では、昨年以上の成績を収めました。また、プールサイドでの応援の態度もとても立派でした。本校の誇れることの一つです。

4年生から6年生の子どもたちのほとんどが部活動の練習に参加しました。屋外での陸上練習は暑さと戦いながらがんばりました。合唱部の子どもたちは、9月24日の下都賀地区の大会に向け「秋祭り」の曲に取り組みました。

暑さに負けずに練習に参加した子どもたち、このことも誇れることです。

### 親子奉仕作業



夏休み最後の土曜日に実施しました「親子奉仕作業」には大勢の保護者の皆様に参加していただきました。ありがとうございました。

お父様方には、側溝に溜まった泥や砂を取り除いていただきました。とても重い蓋を上げての作業は重労働だったことでしょう。プールや農園や花壇もとてもきれいになりました。校舎内では、普段の掃除ではできない蛍光灯掃除や窓ふき、トイレは隅々まで磨いていただきました。

おかげさまでとてもきれいな環境の中で始業式を迎えることができました。

また、子どもたちと一緒に歩いて通学路の危険箇所を確認していただいていることもありがたいことです。



# 始業式の話から

始業式の話の中で、次の2つのことを行なっていきたいと伝えました。

1つ目は、「たくさん本を読む」ことです。読書を続けることは、目には見えませんが皆さんを成長させてくれます。今まで知らなかった事が分かったり、わくわくしたり、ドキドキしたり、いろいろなことを考えられるようになります。今まであまり図書室に行かなかった人は2学期はたくさん図書室に行きましょう。

2つ目は、「友達の良いところを見つけられる子になる」ことです。

1学期に「いじめ」についてのアンケートがありました。吹上小のお友達の中にもとても辛い思いをしたり、悲しい気持ちになったり、学校に行きたくなくなったりした人がいました。ですから、皆さんには、「友達の良いところを見つける子」になってほしいと思いました。良いところが見つけられる子は心の温かい子です。心の温かい子は、「いじめ」はできません。

みんなが笑顔で過ごせる学校をみんなでつくっていきましょう。

最後に、各学期の始めに必ず伝えていることです。

「いいクラスは、担任の先生と皆さんのが心を合わせてつくっていくものです。」先生といっしょにがんばってください。

## 主な行事

9月24日	下地区音楽発表会
10月2日 3日	4年生太平山宿泊学習
10月3日 4日	修学旅行
10月8日	3年校外学習
10月10日	5年校外学習
10月18日	栃木地区陸上 交歓会
10月22日	4年校外学習

# 入賞おめでとう！

## ＜水泳交歓会＞

自由形 100m	3位	相田紘希	さん
	6位	名淵瑛介	さん
	6位	森戸花音	さん
平泳 100m	3位	田島祐哉	さん
	6位	伏木ひより	さん
自由形 50m	2位	関口俊介	さん
バタフライ 50m	6位	佐藤佑紀	さん
	5位	浅山琴羽	さん
背泳 50m	6位	小宮岳志	さん
平泳 50m	4位	増山啓太	さん
	2位	長美乃莉	さん
自由形 25m	2位	藤掛颯太	さん
	3位	鴻野夏来	さん
バタフライ 25m	2位	伊藤大希	さん
	6位	大嶋逸生	さん
	1位	早川貴樹	さん
背泳 25m	2位	田中康太郎	さん
	3位	海老原叶多	さん
平泳 25m	2位	早乙女響紀	さん
	3位	山木 望	さん
	2位	樋口 蘭	さん
男子自由形 100mリレー	3位		
		関口俊介	田島祐哉
		伊藤大希	田中康太郎

## 夏休みに出会った言葉から

- 「ありがとう」には2つの意味がある。1つは「感謝」、2つ目は、自分も他人から感謝され「ありがとう」と言われるような人間にならなければならないと自覚し精進努力する芽を育てること。
- 荒れた学校・学級を立て直すには、そこが「公」の場であることを子どもたちに理解させることが重要。具体的方策として、「言葉遣い」「時間の厳守」。「言葉遣い」は、公の場に相応しい一人の人間として子どもの存在を認めるため「～さん」「～くん」ときちんと呼ぶ。
- 「時間の厳守」は、チャイムと同時に授業を始めるなど、教師自身が時間厳守を実行。
- 荒れる子どもは「寝てない、食ってない、勉強していない」。

~